



広

陵

町

真美ヶ丘中学校

議会 だより

 **No.81**

平成 25 年 5 月 1 日

contents

目次

2	就任のごあいさつ 第1回臨時会
4	第1回定例会
8	町政を問う一般質問
13	委員会の窓
15	特別委員会の設置を決議
16	議会日誌

青木義勝議員が議長に 副議長には堀川季延議員を



青木義勝 議長



堀川季延 副議長

就任のごあいさつ

青葉、若葉の候 町民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本町議会運営に対し、深い関心をお寄せいただきますとともに、格段のご支援、ご鞭撻を賜っておりますことに對しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、去る4月17日の第1回臨時会において、議員各位のご推挙を得まして、正副議長の要職を担うことになりました。私共にとりましてこのうえない光栄であり、身を挺してそのご期待に沿うべく粉骨砕身努力をいたす決意でございます。

世情におきましては、ご承知のとおり、アベノミクスと呼ばれる経済対策により一時的に円安傾向、株価の上昇と回復の兆しを現しております。しかし、地方行政には厳しい状況が続いており、地域防災のための取り組み

も優先されなければなりません。

本年、町行政においては平岡町長の退任という節目を迎えることとなりました。地方自治体における町長と議会議員は、住民により直接公選される二元代表制であり、その機能を十分に発揮して住民の負託に応えるためにも、議会の基本的なあり方を再認識し、そして、より以上に責務を果たすため「議会基本条例」の制定を目指します。

ここに、心を新たにして町民の皆様が暮らしやすく、そして笑顔の絶えない安心、安全なまちづくりに議員諸氏と一致団結して積極的に取り組んでまいる所存であります。

今後とも町議会に對しまして、なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



臨時会が、4月17日招集されました。選挙1件、専決処分報告1件、人事案件1件が提出され、原案のとおり同意しました。

また、議長・副議長などの役員改選を行いました。

◆選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

臨時会において、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の選挙(指名推薦)を行い、次の方が当選されました。

(委員)

- ・ 秦泉寺麻夫(馬見南3)
- ・ 植村 量平(寺戸)
- ・ 吉中 功(南郷)
- ・ 竹井 宗男(三吉)

(補充員)

- ・ 吉井英一郎(疋相)
- ・ 高畑 博(馬見北5)
- ・ 吉崎 康師(萱野)
- ・ 寺輪 利一(馬見南4)

専決

◆広陵町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

人事

◆町監査委員の選任

町監査委員のうち、議会議員から八代 基次議員（馬見南5）を選任することに同意しました。

議会運営委員会

議会を円滑に効率的に運営するために、次の2つの常任委員会とは別に設置されている委員会で、定数は6名で構成されています。

- 委員長 竹村 博司
- 副委員長 八尾 春雄
- 委員 吉村眞弓美
- 委員 坂野 佳宏
- 委員 奥本 隆一
- 委員 吉田 信弘

常任委員会構成決まる

総務文教委員会

行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査

厚生建設委員会

社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項、土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査

委員長 山村美咲子



委員 青木 義勝



副委員長 八尾 春雄



委員 笹井 由明



委員 竹村 博司



委員 八代 基次



委員 吉田 信弘



委員長 坂口 友良



委員 坂野 佳宏



副委員長 谷 禎一



委員 奥本 隆一



委員 堀川 季延



委員 山田美津代



委員 吉村眞弓美



平成25年
第1回
定例会
3月5日～3月21日

審議結果は次のとおりです。

条例

議案第1号 広陵町子どもスポーツ広場条例の制定について
クリーンセンター南側に子ども優先の芝生広場を設置

採決結果 全員一致で可決

議案第2号 広陵町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第3号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて
県営水道の値下げがあったため水道料金を値下げする改正

採決結果 全員一致で可決

予算

議案第4号 平成24年度広陵町一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出それぞれ6,224万7千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第5号 平成24年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ1億1,523万9千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第6号 平成24年度広陵町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ915万1千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第7号 平成24年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ9,730万1千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第8号 平成24年度広陵町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ1,277万5千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第9号 平成25年度広陵町一般会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第10号 平成25年度広陵町国民健康保険特別会計予算

賛成討論
非常に大切な制度。反対の意見は短絡的に過ぎる。

反対討論
国の負担率が24%にまで落ち込み、住民負担で補おうと高額な国保税となっている。200万円の所得で37万円という額は住民には大変な負担になっている。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者】堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代



議案第11号 平成25年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

賛成討論
国で制度のあり方が検討されている中、地方三団体も制度創設5年を一定評価している。安定的な制度維持を求めていく。

反対討論
受けられる医療を年齢で差別する制度であり、廃止すべきだ。広域連合議員から、掛け金増額や制度の運営に関し何の報告相談もなく、非民主的な運営になっている。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者】堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代

議案第12号 平成25年度広陵町介護保険特別会計予算

賛成討論
軽度介護者を重度化させないことは今後の介護保険料にも影響がある。予算から予防重視の姿勢がうかがえる。

反対討論
負担増、サービス切り捨て、介護報酬の削減という改悪を経て、国の負担も減少するため、低所得者が必要なサービスを受けられない。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者】堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代

議案第13号 平成25年度広陵町下水道事業特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第14号 平成25年度広陵町墓地事業特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第15号 平成25年度広陵町学校給食特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第16号 平成25年度広陵町用地取得事業特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第17号 平成25年度広陵町水道事業会計予算

採決結果 全員一致で可決

専決

◆平成24年度広陵町一般会計補正予算(第5号)の専決処分の報告について

報告

◆自動車事故に係る損害賠償額の決定について

◆平成25年度広陵町土地開発公社予算について

その他

◆広陵町土地開発公社の解散について

採決結果 全員一致で可決

◆葛城市・広陵町障害程度区分判定審査会共同設置規約の変更をすることについて

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案

議員提出議案第1号 予算審査特別委員会設置に関する決議について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第2号 広陵町議会会議規則の一部を改正することについて

地方自治法の改正に伴う規則の改正

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第3号 中学校給食検討特別委員会設置の決議について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第4号 広陵町と県とのネットワークシステム検討特別委員会設置の決議について

賛成討論

契機となった倉庫解体に関し県や県議会に関係資料の提供を求め、県と町の情報がよく行きわたるよう関係を整理することは意義がある。

反対討論

この問題は行政が対応するよう直ちに指摘し、県100条委員会の審議に傾注すべきである。

採決結果 賛成多数で可決

【賛成者 堀川、谷、吉村、山村、吉田、坂口、八尾、山田、八代】

◆年金2・5%の削減中止を求める意見書

賛成討論

年金削減は庶民の暮らしを困窮させることになる上、町の税収も370万円減になるとの試算になっているので中止すべきだ。

反対討論

物価スライド制を維持することは、若年者の年金制度への信頼を確立するために必要な措置で、つらいが甘受すべきである。

採決結果 賛成少数で否決

【賛成者 八尾、山田】

◆民意を反映した衆議院選挙制度への改革を求める意見書

賛成討論

年末の総選挙では53%もの死に票が出た。小選挙区制では得票と議席が対応せず、比例代表制重視や中選挙区制も含めた民意を反映する制度へ改革が必要だ。

反対討論

一票の格差については、選挙制度と共に定数削減が必要。定数削減に触れていない当意見書には反対。

採決結果 賛成少数で否決

【賛成者 吉村、山村、八尾、山田、八代】

平成25年度当初予算を可決

一般会計予算 98億円（骨格予算）

平成25年度一般会計など各会計予算の9議案は、予算審査特別委員会を設置し、3月14日、15日の2日間にわたり審査され、3月21日の本会議では、議案についての討論が行われましたが、すべて原案どおり可決されました。

新規事業の主なものとして、真美ヶ丘配水場整備事業4億円、百済奥坪墓地駐車場整備事業1,900万円、中学校給食施設整備事業1,094

万円、竹取公園遊具整備等事業1,048万円、7,000円など計上され、継続事業の主なものとして水道管路老朽管更新事業2億円、乳幼児・子ども医療費助成事業8,515万円、百済中央線バイパス事業3,800万円、妊婦検診公費負担2,682万8,000円、がん検診・予防事業2,610万4,000円、橋りょう長寿命化修繕事業2,500万円などが計上されました。

■平成25年度議会関係当初予算■

報酬	5,184万円	議員報酬14人分
給料	1,255万円	職員給料3人分
職員手当等	2,446万円	議員期末・職員期末勤勉手当 2,248万円 その他手当 198万円
共済費	2,901万円	議員共済負担金他 2,550万円 職員共済負担金 351万円
旅費	56万円	議員費用弁償 55万円 職員旅費 1万円
交際費	30万円	議長交際費
需用費	281万円	議会だより印刷代 161万円 法規追録・新聞・図書代 86万円 その他 34万円
役務費	12万円	自動車損害保険料 7万円 その他 5万円
委託料	142万円	会議録作成及び検索システム委託
使用料及び賃借料	116万円	会議録検索システムAPS使用料 50万円 録画映像配信システム使用料 30万円 委員会視察用バス使用料 36万円
負担金補助及び交付金	340万円	北葛城郡議長会負担金 172万円 政務活動費14人分 168万円
公課費	4万円	重量税
合計	12,767万円	前年度比較 208万円の増 (1.658%増)

■平成25年度各会計予算■

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	98億円	0.7%増
国民健康保険特別会計	33億7,530万円	5.5%増
後期高齢者医療特別会計	2億7,270万円	5.9%増
介護保険特別会計	19億7,610万円	9.3%増
下水道事業特別会計	10億6,400万円	1.7%減
墓地事業特別会計	2,530万円	21.4%減
学校給食特別会計	1億8,390万円	0.6%増
用地取得事業特別会計	3,550万円	1.4%減
水道事業会計（収益的支出）	11億4万円	29.4%増
総額	178億3,284万円	3.8%増

◆骨格予算とは？

本来予算は、その年度の歳入、歳出すべてについて年間見通しのうえに編成されますが、町長や議員の選挙時期等の関係から政策的判断ができにくい等の事由により、政策的経費を避け、人件費等必要最小限の経費を計上する予算の事です。

事由の解消後に政策的経費や新規事業費等を加える補正予算を肉付け予算といえます。

特別委員会の報告

去る平成24年6月18日に設置した2つの特別委員会について、平成25年3月5日に最終報告を行いました。

中学校給食 検討特別委員会

1 設置の目的

成長期である中学生の心身の健全な発育を促す安心・安全な学校給食の実施について検討するため。

2 委員会開催回数 2回

3 視察・研修等

広陵町立広陵東小学校・河合町立河合第一小学校・王寺町立中学校給食共同調理場・大和郡山市学校給食センター 矢田

4 まとめ

中学校給食導入については、従来から保護者の要望が強く、成長期にある中学生に給食を提供することで、栄養のバランスのとれた食生活を促すことができ、中学生の心身の健全な発達、望ましい食習慣を確立できると考える。

特別委員会においては、全体として中学校給食の実施に向けて、どういった給食方式で実施すべきかを検

討するため、近隣市町で実施している中学校給食の方式を視察し、現在実施の方式に至った経緯や建設費用、アレルギー対応の実態、給食物資の購入方法などを学んだ。

その結果、特別委員会としてアレルギー体質の生徒や弁当給食を望まれる保護者に配慮しつつ、採択した請願内容を踏まえた学校給食法に基づく中学校給食の速やかな実現に向けて鋭意努力するものである。

また、町において、地場で採れた新鮮で安心な地元野菜を計画的に提供できるように取り組まれない。

なお、引き続き学校給食の具体的な方式、運営の形態について、継続して検討していく。



地域公共交通システム 検討特別委員会

1 設置の目的

地域住民の実情に即し、より利便性を図った公共交通システムの構築に資するため。

2 委員会開催回数 1回

3 視察・研修等

香川県仲多度郡まんのう町

4 まとめ

現在運行している元気号については改善はされているものの、まだまだ利用者にとつて不便なところも多々ある。その不便なところを補う公共交通が必要であり、平成24年2月27日に特別委員会として報告した内容と、今特別委員会でもんのう町の公共交通視察を基に検討した結果、左記のとおり報告する。

① 運行方法

デマンド式乗合型タクシー

② 利用対象者

60歳以上及び事情のある60歳未満の方

③ 稼働日と稼働時間

週7日走行・8時～18時

④ 事業主体

広陵町又は社会福祉協議会

⑤ ドライバーと使用車両

事業主体は今後の検討になるが、ドライバーは広陵町内と交通事情に精通しておられる住民の方の協力を得るようになすこと。

⑥ 走行範囲

町内の公共施設及び医院、町内のスーパー、町外では国保中央病院・近鉄松塚駅・高田市立病院・土庫病院

⑦ 利用方法

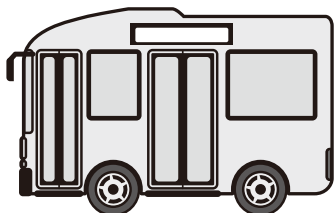
登録制利用1回100円(チケット制)・予約制

⑧ 経費試算

14,982,000円

⑨ 住民説明会・分かりやすい資料の作成

すべての大字・自治会で住民説明会を開催し、わかりやすい利用システムとなるよう工夫する。



質 問 一 般

こころが聞きたい！

町政を問う



一般質問を3月11日、12日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制（質問内容をあらかじめ議長に提出する。）を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、一題につき、3回まで質問を行います。なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、6月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



坂口友良 議員

奈良交通廃止路線予定による交通対策を問う

問 2月20日奈良県地域交通改善協議会が開かれ奈良交通バスの竹取公園〜高田の路線廃止が示されたと思う。本町の幹線路線の廃止であり広陵元気号の運行ルートの再検討も必要性が出てくる。廃止時期の予定や本町の対策はどうか？

平岡町長 路線バス利用者の減少により市町村の協力をお願いしたいとの申し出がある。平成26年9月末までは路線維持するが、それ以降については財政支援をお願いしたいとのことである。費用負担をするか、廃止を容認し代替措置の検討をするかなど本町公共交通のあり方を議論していかねばならないと考える。

本町正職員採用は最優秀職員のみを

問 今回技術やケアマナなど正職員募集をかけた。本町職員は現在優秀な職員のみで少数精鋭主義を貫

いている。人が足りないからといって採用ベースを下げる必要はない。基準以上の正職員の採用を願いたいし、議員も当然その目であたる。住民もその目で見ているので採用基準は厳しくしたいが、現状の対応はどうか？

平岡町長 従来から職種にかかわらず受験資格を大卒以上とし採用してきた。しかし、今回専門技術職の募集にあたり、実務経験を重視すべき介護支援専門員及び情報処理技術職の2職種については特に大卒以上としなかった。今後も職種に応じた受験資格を検討し、優秀な職員を採用したい。

平岡町長の残すべき町運営姿勢についての考えは

問 今回で平岡町長は職務を終了すると表明された。残った幹部職員への教育は平岡町長の職務であるので、任期満了まで全力で取り組んでほしいが考えは？

平岡町長 幹部職員とは常に業務を通じ高い理想を掲げ取り組んできた。任期（6/30）まで今後の広陵町を担う職員の育成や教育、また残された課題に全力で取り組む所存であります。



八代基次 議員

公会計に貸借対照表の採用を (大福帳会計からの脱却を)

問 貸借対照表はある時点での資産と負債の関係を対照して示したもので、必ずつり合いがとれているのでバランスシートともいわれている。

現状では住民は自治体財政が健全であるかどうか、債務超過状態なのか判断できない。また住民が納めた税金がどのように資産形成に使われているか理解できない。水道事業会計は貸借対照表が作成されている。全ての会計に貸借対照表を作成することで、自己の財政判断の材料とし、住民に公表し、職員の志気、緊張感を高め、住民も税金がどのように使われているか判断できる。

もちろん、公会計と民間会計とは性格を異にしている。公会計には資本の元入れはなく、減価償却は現金支出を伴わないし、国庫補助金の処理等解決すべき問題もあるが、住民、職員に事務事業コストの意識が高まり、財政のより健全に、政策費ごとに行政コストの計算も容易になる等々メリットは大きい。町長の見解を問う。

るが、住民、職員に事務事業コストの意識が高まり、財政のより健全に、政策費ごとに行政コストの計算も容易になる等々メリットは大きい。町長の見解を問う。

平岡町長

地方公共団体の会計処理は、一会計年度の現金収支を基準とする現金主義で、財政上の責任を明確にし、予算の執行や現金収支の把握に適しています。その反面、資産形成、財源内訳、行政コストの把握はできませんでした。貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書は、平成21年度以降、総務省から公表された「新地方公会計制度実務研究会報告書」の「総務省方式に基づき財務書類作成要領」に基づき2つの目的のために作成しています。1つめは住民や議会に対する説明責任の履行であり、2つめは財政の効率化、適正化であります。地方公共団体は自らの権限と責任において規律ある財政運営を行うことが求められており、財務書類から得られる情報により、財政の効率化・適正化を図ることにあります。これらの目的達成のため、ホームページや広報で住民にわかりやすい周知の方法を考え、財政の透明性・効率化を図ってまいります。

理は、一会計年度の現金収支を基準とする現金主義で、財政上の責任を明確にし、予算の執行や現金収支の把握に適しています。その反面、資産形成、財源内訳、行政コストの把握はできませんでした。貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書は、平成21年度以降、総務省から公表された「新地方公会計制度実務研究会報告書」の「総務省方式に基づき財務書類作成要領」に基づき2つの目的のために作成しています。1つめは住民や議会に対する説明責任の履行であり、2つめは財政の効率化、適正化であります。地方公共団体は自らの権限と責任において規律ある財政運営を行うことが求められており、財務書類から得られる情報により、財政の効率化・適正化を図ることにあります。これらの目的達成のため、ホームページや広報で住民にわかりやすい周知の方法を考え、財政の透明性・効率化を図ってまいります。



坂野佳宏 議員

小中学校の エアコンについて?

問 6月議会で質問した普通教室のエアコン設置の検討、研究の結果はどうなったか?

安田教育長 検討、研究の結果を報告致します。

設置に対し、国庫交付金対象事業として空調設置工事において補助率3分の1の補助対象事業があります。国の助成制度もあることから、更なる教育環境の向上に向け、経費と財源、予算配分の重点度等研究し、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

問 町長が施政方針で目標にされている4万人都市実現に向けて、他市町村に先駆けて実施されてはどうか。

教育環境の整備された町として十分なアピールになると思いますが。

平岡町長 小中学校併せて普通教室が100室余りあり、1室当たり50万円とした場合、約5億円が事業費となります。

3分の1の補助が見込めるため、設置するなら小中学校同時に導入したいと思っています。平成25年度に補助金要望を行うよう担当部局に指示致します。

し尿処理に伴う 負担金について

問 下水道が普及し、し尿処理戸数が減少している中、年間約1億2千万を葛城広域清掃事務組合負担金として支出している。負担軽減に向けての町当局のビジョンを聞かせてほしい。

平岡町長 し尿処理業務は市町村の責務であり、4市4町で協議を行い合意に基づき負担金を決めている。現時点で1119戸が下水接続未了であり、し尿処理が必要となつていふことをご理解頂きたい。

将来のビジョンではありますが、これらの費用負担と下水普及の状況を勘案し、組合の存立、加入構成員の課題が出てきます。適切な時期に、最適の判断が必要ですが、現時点では所要の費用負担として、ご理解いただきたいと思います。





奥本隆一 議員

広陵町民の方限定！ 住民票など証明書宅配へ

問 足腰が痛くて外出がづらい、体調が悪くて役場まで行けないという高齢者や障がい者の方のために、住民票や戸籍謄本などの各種証明書を、お電話一本で職員がご自宅までお届けする「住民票等証明書宅配サービス」を提案します。

平岡町長 「人によさしいまちづくり」の基本理念に配慮したご提案、誠にありがとうございます。これらの証明書類の発行は、民生委員や障がい者相談員あるいは、介護・障がいの事業者などの福祉サービスの分野に担っていただければ最善と考えるものであります。行政としては、昨今問題となっている「なりすまし請求」を防止し、個人の権利を保全するためのセキュリティの構築に努めるべく、さらに「より良きもの」に積極的に改革してまいりたいと存じますので、ご理解をお願いします。

中学校給食実施に向けた 事業計画について

問 平成25年度の施政方針で中学校給食については、給食実施に向けての「中学校給食運営委員会」を立ち上げ、検討から実施に向けた方針がなされ、また所用の予算も計上された。今後の事業計画及び実施時期について伺いたい。

安田教育長 平成25年度当初予算において、給食の方式を自校方式として、測量・設計委託料等を予算計上させていただいております。建築場所につきましては、現校舎にスムーズに接続できる場所とし、1階部分を調理室とし、2階部分を200人が食育を学ぶ特別教室とし、弁当持参も選択できる方式を考えています。

平岡町長 遅れていた中学校給食です。発育途上にある中学生に、食の教育と共に日本一の中学校給食を実現しようではありませんか。広陵町の責務として頑張つてまいりますので、よろしくお願いいたします。



幼稚園の統廃合について



堀川季延 議員

問 町の総合計画では、平成28年度を目標に幼稚園を5園とし、各小学校区に1園とするため西幼稚園と西第二幼稚園の統廃合への取り組みが始まろうとしているが、建設に向けての今後の予定はどうか。

安田教育長 現在ある幼稚園のうち、西、西第二、北幼稚園は築40年前後が経過しており、老朽化による立て替えを検討中で、今後、整備のための委員会を立ち上げ、地元と協議を重ね用地を決定したい。今年に建設計画がまとまれば、次年度以降に建築を進めたい。

路線バスの運行について

問 町内路線バスの一部が廃止の検討をしているとの新聞記事があり、本町も県地域交通改善協議会に参加していると思うが、どのような話しがでているのか伺いたい。竹取公園東から大和高田市方面への路線

バスは、町内の方のもとより、巢山古墳などの史跡目当てや町外からの通勤者もたくさん利用している。何とか現状を存続できるよう努力してほしい。

また、将来を考えた場合、町もしくは近隣市町と連携して、住民の通勤・通学等の利便を図る必要があると思うが、元気号や議会が提唱するデマンド式乗合タクシーも踏まえどのように考えているのか。

平岡町長 今回の廃止検討バス路線については、通勤通学者、移動手段を持たない高齢者や子どもにとつて貴重な移動手段であり、朝夕は1時間間に3便運行しており、廃止となつた場合、広陵元気号での補完は困難です。

この路線を維持するには、町が独自に補助を行うか、広域での隣接市町の連携による補助が必要です。既存路線を継続運行できるよう、奈良県地域交通改善協議会で、県並びに関係市町及び機関と協議します。

◆その他の質問事項

○図書館の貸し出しについて





谷 禎一 議員

アスベスト被害について

町の考えは？

問 奈良県議会の100条委員会は広陵町百済地域内で、通学路としての配慮が無かったこと及び、アスベスト飛散があつた場合を懸念し、慎重に調査している。当該地である町は児童生徒の健康や安全問題について県に先駆けて調査、解決に当たらなければならぬのではないのか？今後、同じことを繰り返さないためには、学校関係者、保護者、PTA相互間の連絡が必要。また、許可権限が町にないことを理由に責任の回避を改めるべく、町に委員会の設置を求める。

平岡町長 アスベスト被害があつた場合はその対応により責任の所在が定まる。

『アスベスト飛散懸念』は新聞報道で知つたので学校を通じて確認したが健康被害はない。道路が県道であることや100条委員会は町の裁量外であるため、特に対応はしてい

ない。町は工事について学校関係者、PTA、父兄の了承を得ていると聞いている。

生徒、児童の安全な環境づくり

提出された町内教育施設の『アスベスト調査報告書』は不備で有り、

現在の施設内の児童生徒の健康面での安全性が疑われる。また、調査業者選定についてもなぜ某業者を経由して分析調査を依頼せねばならないのか。

奈良県関係課は、児童生徒の通学路での安全の問題などについて「第一義的には町が行なうべきである」「住民の情報提供なりがあれば、早いうちに立ち入りできた」と証言している。当該地である町はなぜ、率先して対応しないのか。

平岡町長 報告書が明確でないが、アスベスト調査は、有資格者が行なっている。また、一部を除いてアスベストの除去は完了している。歩道及び解体の問題については県の100条委員会を見守り、対処予定。民間工事では行政の縦割りの仕組みの中で知り得ないことも、事後に知る場合もありえる。



吉村真弓美 議員

胃がんリスク(ABC)

検診の導入について

問 現在、胃がんで毎年5万人の方が亡くなる。ピロリ菌の長年の感染で胃の粘膜が萎縮して胃がんが発生する。本町の胃がん対策として、従来のバリウムを飲むレントゲン法ではなく、わずかな血液を採るだけで判断ができるABC検診(ピロリ菌感染の有無と萎縮性胃炎の有無を調べ、リスクの高さを説明する)の導入を提案します。

理事者 ABC検診が有効であるということは証明されている。今後そういったことを視野に入れながら対策を考えていく。対象年齢や費用についても研究し、早期にできるものであれば実施をしてまいりたい。

学校におけるがん教育の推進について

問 義務教育の時代にがん検診や予防の大切さを教えることが、がん対策の最大の啓発活動になる。子ど

も達の周りでも子宮頸がんの予防接種が開始されるなど、がんは子ども達の身近な問題となっている。子どもの命を守るために小中学校でがんの正しい知識を授業などで教えるなど、がん教育を推進していかげしょう。

安田教育長 小学校では、保健体育の授業中「保健指導」の単元において学習を行い、中学校では、3年生の「保健体育」の授業において学んでいます。今後も、あらゆる機会を通じて「がん」をはじめ健康に関する学習を深めてまいります。

選挙制度について

問 全国には、有権者に郵送する投票所入場券の裏に宣誓書を印刷して自宅で記入する方式をとる自治体が増えている。高齢者の中には、投票所で宣誓書を書くだけでも緊張するとの声があり、心理的負担の解消になり投票率の向上にもつながる。ぜひ、自宅で宣誓書を記入できるように対策を講じていただきたい。

理事者 隣接したところ(橿原市・香芝市・上牧町・斑鳩町・川西町・田原本町・大和郡山市)が実施をしていくということですから、本町も近い将来実施に向け考えていく。



山村美咲子 議員

「通学路の安全対策」について

問 ① 昨年実施された、通学路における緊急合同点検の取り組み状況は？

② 本来、通学路の安全点検は継続的に行われていなければならぬものです。今後どういう形で継続していく考えですか。

③ 危険箇所対応の進捗状況をホームページで公開していく必要があるのでは？

④ 奈良県警が取り組んでいる「ゾーン30」を広陵町でも推進していくべきでは？

⑤ 沢の町道を速度制限をしたが、守られていない。道幅も狭く大変危険である通学路であるのは、町も認識しているのではないか。安全対策に取り組んでいただきたい。

理事者 昨年の通学路における交通事故を受け、通学路の全国一斉点検が実施されました。本町では、33箇所の対策必要箇所がありました。現

在では整備が進み、33箇所中20箇所が対策済みで、7箇所が対応途中(県対応4箇所、町対応3箇所)。残る6箇所が検討中で、25年度町対応予定が2箇所、残りの4箇所は香芝警察との協議で対応する予定です。

② 今後もPTA、警察とも協議しながら、通学路の安全対策については継続的に実施していきます。

③ 進捗状況を把握するにはホームページで公開するなど進行管理をしつかりする必要があります。

④ 「ゾーン30」については、沿線の皆様の協力を得ながら、町内でも取り入れていくよう考えます。

⑤ 沢の通学路歩行者安全確保の要望には、用地確保のため地元協議が整えば、速やかに整備していきます。

◆その他の質問事項

○安心・安全なまちづくりのために
○学校給食における食物アレルギー対応について



山田美津代 議員

西幼稚園廃園検討は やめるべき！

問 西と西第二幼稚園の老朽化による統廃合はやめて、地域の幼稚園は地域で建て替えていく必要がある。竹取公園前や寺戸近く、またはタイタン近くから通っている園児もいる中で、平尾だけになれば通園も遠い所は困難になる。地域で愛され溶け込んでいる必要な教育施設は地域で建てるべき。

安田教育長 2園とも四十年経過して施設の整備を進めたい。教育的な観点から統合も視野に入れて検討中。統合しないで、建て替えが妥当との結論となる場合もあります。

中央公民館の職員数は適正な配置をされていますか？

問 町民が利用しようと予約を取りに行っても、最近混んでいたたり、電話中だったり以前と比べて職員が大幅に配置替えになり、何か聞いてもわからない事が多く困ります。

です。体育館利用と合わせて年間15万人も利用されている。住民サービスが低下しないよう配慮がいるし、適正な職員数の配置を考えていただきたい。

平岡町長 少数精鋭主義を基本としている。人員だけでなく人材を育てる事も大切であり常にその視点で適正な配置をしている。

安田教育長 月の初めは集中する。本庁からも応援をして態勢をとりスムーズに対応している。

公共施設建設時には、奈良県産材を！

問 奈良県産材は、白アリにも災害にも強い。これから老朽化による公共施設の建て替えや歴史文化会館(仮称)の建設、中学校給食実施による案の中にランチルーム等検討されている中で、暖かみがあり、衝撃を和らげて足の負担やケガの防止にもなる県産材の使用が必要と思われれます。ぜひ県も薦めている県産材の活用を。

平岡町長 本町では公園の屋外トイレや観光トイレに使用している。今後、公共施設での使用は、構造、場所等、また耐火性能、耐久性等十分検討しながら進めてまいりたいと考えます。



八尾春雄 議員

子育て育成教室の改善を

問 朝7時30分からの受け入れを検討してほしい、また、厚生労働省は1か所に40名までが望ましいとしている。男女共同参画をめざす町として働く女性に応援をしてほしい。

平岡町長 指導員の出勤体制を早出・遅出に組み替え事前の申し出があれば7時30分から受け入れる方向で進める。多くの団体では3年生までだが本町では6年生までを対象としている。

脱法ハーブやドラッグに関する啓発実施を

問 体を蝕み家庭を崩壊させ未来を奪うこの問題を学校教育で取り上げてほしい。

安田教育長 脱法ハーブは麻薬や覚せい剤につながる入門薬物とも言われ、体への影響が未確認のものも多く治療法も確立されていない。県担当部署や警察とも連絡することや

教育委員会とも連携し児童生徒への啓発活動に努める。

課外活動における

体罰の中止を

問 これまで教師による児童生徒への体罰にはどのように対応してきたのか。体罰は教育の否定であり人格の否定である。

平岡町長 学校教育法第11条において体罰は禁止されている。現在まで各学校からの体罰の報告は受けていない。引き続き各学校に対し、体罰の禁止と体罰を加えない生徒指導を徹底する。

◆その他の質問事項

- 2本の地区計画原案の今後の取り扱いについて
- 北千島(占守島から得撫島までの18島)を北方領土返還運動の対象に加えることについて



委員会の窓

3月議会に上程された議案は、総務文教委員会、厚生建設委員会及び予算審査特別委員会に付託された19件について審査を行いました。その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案2件

議案第1号 広陵町子どもスポーツ広場条例の制定について

問 整備した面積、総事業費、用途等は。

答 広場の面積は3,000平米、総事業費6,000万円、用途は子どもだけでなく大人も無料で利用できる芝生広場。子どものサッカー、ラグビー、大人のフットサルなどに利用いただきたい。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第4号 平成24年度広陵町一般会計補正予算(第4号)

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

厚生建設委員会

議案8件

議案第2号 広陵町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第3号 広陵町水道事業給水条例の一部を改正することについて

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第5号 平成24年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第6号 平成24年度広陵町後
期高齢者医療特別会計補正予算
(第1号)

結果 全員一致で可決すべきものと
決しました。

議案第7号 平成24年度広陵町介
護保険特別会計補正予算(第2号)

結果 全員一致で可決すべきものと
決しました。

議案第8号 平成24年度広陵町下
水道事業特別会計補正予算(第2号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で
可決すべきものと決しました。

議案第18号 広陵町土地開発公社
の解散について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で
可決すべきものと決しました。

議案第19号 葛城市・広陵町障害
程度区分判定審査会共同設置規約
の変更をすることについて

結果 全員一致で可決すべきものと
決しました。

予算審査特別委員会
議案9件

議案第9号 平成25年度一般会計
予算について

問 骨格予算98億円の概要は。

答 基本的に新規事業や政策的事
業を見送って計上している
が、災害に関するもの、義務
教育に関するもののように町
民生活に影響を及ぼすもの
については計上している。選
挙後、新町長に精査していただ
き補正する。

問 起債の額が増えて不安に感じ
る住民がいるのでは。

答 財政状況は年度末の起債残高
だけで見るとはなく、経常収
支比率などから長期的に判断
するもので、広報等でもっと分
かりやすく公開していきたい。

問 過剰な時間外労働によりメン
タル不全者が発生する可能性
がある。職員の勤務実態を把
握しているのか。

答 月10時間以上の残業を認めて
おらず、毎週水曜と金曜は
ノー残業デーを実施している。

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

議案第10号 平成25年度広陵町国
民健康保険特別会計予算について

問 滞納者対策やジエネリック医
薬品の奨励
結果 賛成多数で認定すべきものと
決しました。

議案第11号 平成25年度広陵町後
期高齢者医療特別会計予算について

結果 賛成多数で認定すべきものと
決しました。

議案第12号 平成25年度広陵町介
護保険特別会計予算について

問 5期目の1年目に多額の補正
をしたが、2年目3年目は大
丈夫なのか。
答 予防事業に力を入れ、6期目
に繰り越さないよう努める。

結果 賛成多数で認定すべきものと
決しました。

議案第13号 平成25年度広陵町下
水道事業特別会計予算について

問 水洗化率90.4%が100%
にならない理由は。
答 一人暮らしの高齢者世帯が増
え、金銭面から接続されない
ことが多い。

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

議案第14号 平成25年度墓地会計
特別会計予算について

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

議案第15号 平成25年度学校給食
特別会計予算について

問 地産地消の取り組みは。
答 安定的に供給できる団体から
の協力を得ないと難しいと認
識している。

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

議案第16号 平成25年度広陵町用
地取得事業特別会計予算の認定に
ついて

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

議案第17号 平成25年度広陵町水
道事業会計予算について

問 今後の真美ヶ丘配水場の耐震
化整備について教えて。
答 県水100%移行後の配水機
能の中心として、耐震性の低
い高架式施設をポンプ圧送の
施設に変換させる整備事業。

結果 全員一致で認定すべきものと
決しました。

特別委員会の設置を決議

去る平成25年3月21日第1回定例会の最終日に、次の2つの特別委員会を設置する決議を行いました。

中学校給食検討特別委員会設置の決議

次のとおり、特別委員会を設立するものとする。

記

1 名称

中学校給食検討特別委員会

2 設置の根拠

地方自治法第110条及び

広陵町議会委員会条例第6条

3 目的

成長期である中学生の心身の健全な発育を促す安心・安全な学校給食の実施について検討するため。

4 委員定数 13名

- 委員 山村美咲子
- 委員 堀川 季延
- 委員 谷 禎一
- 委員 吉村眞弓美
- 委員 坂野 佳宏
- 委員 奥本 隆一
- 委員 吉田 信弘
- 委員 坂口 友良

5 活動

平成26年3月31日までとし、閉会中も行うことができる。

広陵町と県とのネットワークシステム検討特別委員会設置の決議

次のとおり、特別委員会を設立するものとする。

記

1 名称

広陵町と県とのネットワークシステム検討特別委員会

地方自治法第110条及び

2 設置の根拠

広陵町議会委員会条例第6条

・本町と県との公害等のネット

3 目的

・本町と県との公害等のネット

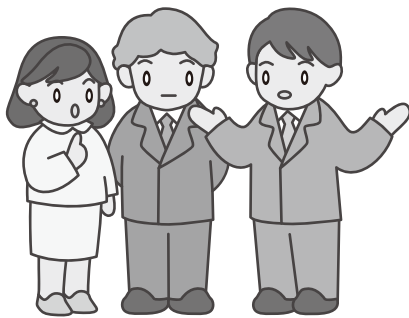
4 委員定数 10名

- ・ワークショップ作り
- ・本町内の公害建築物等の解体時の届出制度と周知体制の確保
- ・広陵町百済地内の違法解体問題の検証

5 活動

平成25年3月21日から平成26年3月31日まで

- 委員 青木 義勝
- 委員 笹井 由明
- 委員 八尾 春雄
- 委員 山田美津代
- 委員 八代 基次
- 委員 青木 義勝
- 委員 堀川 季延
- 委員 谷 禎一
- 委員 山村美咲子
- 委員 坂口 友良
- 委員 八尾 春雄
- 委員 山田美津代
- 委員 八代 基次



議会の傍聴にお越しく下さい!

議会はみなさんに公開しています。気軽に来てください。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。次回は6月に町長選挙があるため、開催月は未定です。日程については、6月下旬に議会事務局までお問い合わせください。ホームページにも掲載予定です。

ホームページ <http://www.town.koryo.nara.jp>

議会日誌

2月

- 7日 全員協議会
- 14日 国保運営協議会
- 18日 葛城地区清掃事務組合議会
- 19日 香芝・広陵消防組合議会
- 20日 葛城広域行政事務組合議会
- 21日 国保中央病院議会
- 22日 第2回中学校給食検討特別委員会
- 25日 第1回地域公共交通システム検討特別委員会
- 27日 北葛城郡町議会議長会総会・永年勲章等表彰式
議会運営委員会

3月

- 5日 第1回定例会(初日)
- 11日 第1回定例会(2日目)
- 12日 第1回定例会(3日目)
- 13日 厚生建設委員会、総務文教委員会
- 14・15日 予算審査特別委員会
- 15日 中学校卒業式
- 18日 幼稚園卒業式
- 19日 小学校卒業式
- 21日 議会運営委員会
第1回定例会(最終日)
- 26日 県町村議会議長会定期総会
- 27日 広報編集委員会
- 28日 第1回広陵町と県とのネットワークシステム検討特別委員会

4月

- 9日 小学校入学式
- 11日 中学校入学式、広報編集委員会
- 12日 幼稚園入園式
- 17日 第1回臨時会、広報編集委員会
- 20日 広陵町防災総合訓練

広陵町議会だより

3月定例会

No.81
平成25年5月1日

発行/広陵町議会 編集/議会広報編集委員会
〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷 583番地1
TEL 0745-55-1001 FAX 0745-55-1165



ご入園・ご入学 おめでとう!



奈良県町村議会議長会長表彰
議長職を通算3年以上務めたこと
について表彰されました。

青木 議長

編集後記



行政のチエック機能は議会本来の役割です。
その根本は、住民の皆さんが安心して暮らせること、住みやすい町であってほしいこと、弱い立場の皆さんや子どもたちや高齢者の皆さんを大切にしたいことなどが挙げられます。
議員の一般質問では日頃から受けているご相談を基礎に、活用できる制度がないかどうか、行政に迫るポイントは何かなどを精査して取り組んでいます。そして議会全体で取り組む際は、中学校給食や公共交通システムや町と県とのネットワークシステムのことなどに特に特別委員会を設置して議会閉会中も活動できるようにしています。
あなたの一声が町政に生かされる時代です。多くの議員に気の付いたことを是非お知らせ下さい。

広報編集委員会

- 委員長 吉田 信弘
- 副委員長 吉村眞弓美
- 委員 谷 禎一
- 委員 山村美咲子
- 委員 笹井 由明
- 委員 八尾 春雄



見やすいユニバーサルデザイン
書体を採用しています。

再生紙を使用しています。